

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 210 2014.12.24 連絡先 402-1622 >

2014年たいへんお世話になりました
来年はいつせい地方選挙の年
引き続きよろしく願いいたします

2014年 私のまわりの3大ニュース

- 1 選挙の多かった年
夏の市議補選 中村あさと議員誕生！ 暮れの衆議院選 大躍進！
- 2 東京で開かれた赤旗まつりに参加し、古い知り合いと再会
- 3 次女が2人目を出産 名前は「奏良」 孫が4人に

こんにちはかとう直人です

新年おめでとうございます。

先の衆議院選挙では日本共産党が大躍進！1996年の総選挙以来18年ぶり。暮らし第一に消費税に頼らない「別の道」



で安部暴走政治ストップの声が実りました。

一方で投票率が低かったことが残念。投票しなかった人へ尋ねると「もし投票するとしたら共産党」の回答が47%、第一位だとの調査も。私は35年間障害者福祉の現場におり、和歌山県の社会福祉をもっと手厚くと常々願ってきました。「私たち抜きに私たちのことを決めないで」と発した当事者の政治参加こそ大事。

共産党議員は県行政と県議会の中に声を届け、願い実現の橋渡しをします。国政でも県政でも常に当事者運動と幅広く共同するのが共産党の立場。棄権者をなくし、その一票をしっかりと共産党候補に結び付け福祉の心のあふれた和歌山県をつくりましょう。私も一生懸命に頑張ります。

みち子のひとりごと 年の瀬に

今年何があつたのか思い出そうとしてもなかなか思い出せず、手帳を繰って、奏良（4人目の孫）が生まれたのは今年だったんだとわかる有様。赤旗まつりにも行つたっけ。11、12月の続く選挙でそれまでのことが吹き飛んでしまったようです。

自然の力の大きさを痛感させられた年でもありました。地震や噴火、土石流、大雪の被害も。人は自然の中で生かされているとともに、知恵と力を合わせて生きていく存在であらねばと再認識しています。

さて来年はといえば、まずはいつせい地方選挙です。私にとっては現職としての初めての選挙。2期目は危ないと言われています。ぜひみなさまの力をお貸しく下さい。

2015年ひつじ年。みなさまにとつて良いことがたくさんありますように。今後ともよろしく願いいたします。



比例ブロック4名の国会議員 決意とごあいさつ

自共対決の新時代実感

近畿ブロック 穀田 恵二さん(67)(8)



近畿ブロックの穀田恵二です。今度の選挙でいよいよ自共の対決、新時代がきているということを実感します。

私どもは、自民党の暴走にストップをかけてほしいという多くの国民の期待に応えなければなりません。その思いでいっぱいです。

私は、残念ながら京都1区では、1万2000票は増やしたんですけれども負けました。けれども本当に多くの方々のご支援、ご期待、とくに若い方々が最後まで応援していただいたということに、改めて敬意を表したいと思います。

また、国会対策委員長としてみなさんといっしょに頑張りたいと思います。

若者の未来開く対案を

近畿ブロック 宮本 岳志さん(54)(3)



私は、選挙中に会った若者たち、子どもたちの声を、胸に刻みたい。来年4月に自衛隊に入ると語った高校3年生。安倍首相はあの子たちの命にも未来にも何の展望も責任も持とうとしていません。

高学費や借金のような奨学金に苦しむ若者たちがあふれていますが、安倍首相も、下村文科相も、この高学費、奨学金問題をどうするか、何の対策も、何の展望もありません。これがいまの若者の置かれている状況だと思えます。

こうやれば未来が開けるじゃないかと、対案をしっかり示して、現実政治を動かすように、みなさんと一緒に頑張りたいと思います。

“しゃべくり力”見せる

近畿ブロック 清水 忠史さん(46)新



前回の総選挙では、維新の強風にあおられ、大変悔しい思いをしてまいりましたが、満を持して国会に駆け上がることができました。

元大阪市議会議員としての論戦力、元漫才師としてのしゃべくり力(笑い)、志位委員長にしかられない程度に持ち味を十二分に発揮し、政府にとってはもっとも厳しい、国民にとっては本当に分かりやすい論戦をしっかりと行っていきたい。

大企業優遇政治ではなく、庶民のフトコロを温めてもらいたい、暮らし・営業を守ってもらいたいという声をパンパンに詰め込んで、国会へ上がってまいりました。巨大与党と対峙(たいじ)する即戦力として、ベストチームの一員として、全力をつくす決意でございます。

HP

震災復興 積極的に提起

近畿ブロック 堀内 照文さん(42)新



今度の選挙は、自民党員だという方、保守だという方、自民党にしか入れたことがないという方から、“安倍政治は怖い。これを止められるのは共産党だけ”という声相次いで寄せられた選挙でした。暴走政治にストップ、国民の願いが本当に生きる政治へと、力を尽くして頑張っていきたい。

まもなく20年を迎える阪神・淡路大震災。借り上げ住宅からの被災者追い出しや、再債務資金の返済問題など、まだまだ多くの課題があります。これは同時に、東北の将来のことにもかかわりますし、国のあり方が問われる問題です。大いに問題提起もして頑張っていきたい。